

「渋沢栄一翁の心を受け継ぐ」～ふるさとと教育のさらなる充実～

深谷の心を紡ぐ「ふるさと教育」

…急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として…
(学習指導要領総説から)

○平成18年1月(合併時) 合計 147,915人

○令和2年10月

合計 142,966人

合併時から-4,949人

深谷では
ふるさとと深谷を
より持続可能な町にするために…

確実な人口減少

- ・深谷の次代を担う子供を育みたい!
- ・深谷から羽ばたきつつも、ふるさとに目を向ける子供を育みたい!

〈人口減少時代を迎えた中で
深谷市の教育のあり方は…〉

いつも深谷に目を向けていた
渋沢栄一翁に学ぶ!

「教育が
地域のエンジン」

ふるさとにふれ、ふるさとを理解し、誇りに思う「ふるさと教育」

令和3年 渋沢栄一翁の大河ドラマ
令和6年 渋沢栄一翁1万円紙幣の顔

追い風

さらなる「ふるさと教育」
の充実へ

令和元年「ふるさと ふかや・渋沢学」の推進



目的

人口減少とグローバル化の進行する時代において、郷土の偉人・渋沢栄一翁の「立志と忠恕」の精神を育み、持続可能な深谷のまちづくりに貢献できる人材を育成するため、市内の幼・保・小・中・高・大の各団・学校が体系化されたカリキュラムのもと、地域の関係団体、機関等と連携し、豊富な教育資源を活用して発達段階に応じた「ふるさと ふかや・渋沢学」を推進する。

幼稚園 保育園 小学校 中学校 高校 大学

「ふるさと ふかや・渋沢学」推進会議

公立幼稚園・保育園各、小学校、中学校、市内高等学校、市内大学、公立小・中学校運営協議会長会、深谷市小中学校PTA連合会、自治会連合会、公民館、深谷商工会議所、ふかや市商工会、深谷青年会議所、深谷市・深谷市教育委員会等

- ・深谷商業高校
- ・深谷高校
- ・正智深谷高校
- ・成徳深谷高校
- ・深谷はばたき特別支援学校

- ・埼玉工业大学
- ・東亜大学



～幼児から大学生まで～「ふるさとふかや・渋沢学」でめざす大人像

「ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる大人」

～幼児から大学生まで～
「ふるさと ふかや・渋沢学」でめざす大人像

「ふるさとを愛し、
夢をもち志高く生きる大人」

- (1) 郷土の偉人、渋沢栄一翁を語れるようになる
- (2) 夢と学びのふるさと深谷のよさを知り、好きになる
- (3) 夢と学びのふるさと深谷に誇りをもち、よさを発信していこう
- (4) 夢と学びのふるさと深谷をよりよくしていこう

深谷市の新しい教育資源

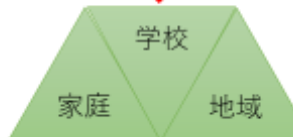
令和3年
2月

渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館

栄一翁関連施設 (深谷の教育資源)

渋沢栄一記念館 中の家 尾高惇忠生家 誠之堂・清風亭
日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設 (旧事務所・ホフマン輪窯・旧変電室・備前渠鉄橋)

連携 協議

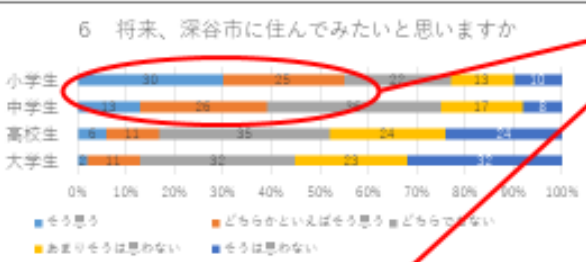


深谷大河ドラマ館と連携した
ふるさと教育のさらなる充実

R1第1回「ふるさと ふかや・渋沢学」に係る意識調査から

12,171人

○調査対象 市内小学校3年生～市内在学大学生4年 (12,171人)
○有効回答 小学生4,766人 中学校3,554人 高校3,381人 大学314人



この項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選んだ子供は、以下の項目を選んでいる割合が高い。

- 深谷市が好き。
- 深谷市に住んでいることや学んでいることを誇りに思っている。
- 深谷市のよさを説明できる。
- 栄一翁の業績や生き方を説明できる。

考察



★ 学んだ知識は体験を通して実感し、本物の知識になる。そのことで、深谷市を好きになり、深谷市に住みたいという大人へと育っていくのではないか。

